

静岡県作業療法士会  
県士会会員各位

令和4年11月吉日  
公益社団法人 静岡県作業療法士会  
教育部理事 秋山尚也  
教育部西部地区代表 萩原正寛

## 第2回現職者共通研修（事例報告会）参加のご案内

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

令和4年度現職者共通研修会を以下の通り開催しますので、ご案内申し上げます。この事例報告会は、日本作業療法士協会生涯教育制度の現職者共通研修対応です。参加者は「事例検討」、発表者は「事例報告」が履修できます。

また事例報告会にて、より多くの先輩作業療法士の方々の参加により、作業療法全体の質の向上にも繋がると考えますので、ぜひ1人でも多くの先輩作業療法士の参加もお待ちしております。

謹白

—記—

1. 開催日：令和4年12月2日（金）
2. 開催方法：ZOOM
3. 参加費：無料

<使用上の注意点>

安定したネット環境を確保して下さい。パソコンでの参加を推奨します。

ビデオは基本的に off にして下さい(回線の負担が大きくなってしまう可能性があるため)。

ZOOM は質疑応答を除きミュートにてご参加下さい。

参加者名は 発表グループ (A or B)、会員番号、名前を記載して下さい (別紙参照)

例 (A 1234 静作太郎)。

### 3. プログラム

テーマ 9.10 事例報告会 ⇒申し込み：グーグルフォーム

18:20～18:50 受付 参加費：無料

19:00～20:30 テーマ 9.10 「事例検討」「事例報告事」

20:30 事務連絡 終了

発表者が多いため、ブレイクアウトルームで2つの部屋（AグループとBグループ）に分かれ、事例報告会を開催いたします。申込時に、参加希望グループを選択して下さい。発表者及びグループ分けは、下記（別紙）を参照して下さい。開始時に希望したグループの変更は可能ですが、事例報告会実施中に部屋の移動はできませんのでご了承下さい。

### 4. 座長募集について（認定作業療法士に限る）

事例報告会開催において認定作業療法士を対象とし座長の募集を行ないます。理由としては、認定作業療法士更新要件の一つとして、「作業療法の啓発に関する社会的貢献（他団体事業への参画、協会・士会の事業、原稿執筆、座長、論文査読など）」と記載されています。社会貢献の機会を増やす目的とし教育部として事例報告会での座長の機会を設定させて頂きました。座長の選定については、教育部内で検討し決定したいと思います。

※申し込み期日：11月11日（金）

※申し込み方法：[Kyoikubu.seibuchiku.shizuot@gmail.com](mailto:Kyoikubu.seibuchiku.shizuot@gmail.com)

（件名：座長希望、コメント：所属先、会員番号、氏名を記載しご連絡下さい）

※座長募集人数：2名

座長決定：11月13日前後に応募者全員に結果を通知いたします。

座長の先生には事前に抄録を添付致します。

### 5. 申し込み方法

グーグルフォームにて

<https://forms.gle/23a4NE5fzbGMskNS9>

〆切：11月25日（金）



※事例報告会は無料ですが、参加希望者は必ず申込をお願い致します。

※上記 URL か QR コードより、Google フォームへアクセスして頂き、必要事項を入力し、最

下部の「送信」ボタンを押してください。Google フォーム内の質問事項は、注意事項等も記載していますので、必ずお読みになり、確認をしながらご入力ください。

※申し込み後、自動返信機能（Google フォームから自動送信）により、申込者が入力した内容が、申し込み時に入力したメールアドレスへ届きます。メールが届かない場合は入力したメールアドレスに問題があるか、ブロック機能等の影響があります。迷惑メールフォルダ等をご確認の上、自動返信メールが届かない場合は、下記問い合わせ先のメールへご連絡ください。

※メールアドレスは、今後研修会案内等で連絡させていただきます。そのため、個人取得されている Gmail や Yahoo メール等のプロバイダーメールをご使用ください。迷惑メール等で返信できない恐れがある為 DoCoMo/au/SoftBank 等のキャリアメールはお控えください。また、不特定閲覧可能な 職場等の共有メールはお控えください。

※申し込み者様に対し、11月27日～11月29日にかけて、ZOOM 情報、抄録などが掲載されている研修会 HP の URL 等をメールにて送信させていただきます。11月30日（水）になっても、メール連絡が来ない場合は、下記連絡先の Gmail（静岡県作業療法士会 教育部）までご連絡をください。必ずご入力頂いたアドレスのメール受信等を確認するようにしてください（迷惑メールフォルダを含め）。

#### 6. その他：

- ・協会及び県士会へ入会されていない方は、必ず入会手続きを済ませて下さい（参加は会員に限ります）。受講後、協会に申請をしますので協会会員番号を取得されていないと履修反映ができません。
- ・当日何か不具合等ありましたら 浜松市リハビリテーション病院（作業療法士 秋山尚也宛） まで電話にてご連絡下さい。（当日メールではタイムリーに対応できないため）

TEL：053-471-8331 （研修会当日のみ）対応時間：18：30～20：30

※履修予定者のキャンセル者のみ、下記メールまでご連絡下さい。履修済みの参加者の連絡は当日含め連絡不要です。

※事前の問い合わせについては下記メールアドレスまでご連絡下さい。

- ・今年度の事例報告会は終了しました。次回は次年度の開催となります。

#### 7. 問い合わせ先

静岡県作業療法士会 教育部 西部地区担当 萩原正寛 宮野真伍

メール：[Kyoikubu.seibuchiku.shizuot@gmail.com](mailto:Kyoikubu.seibuchiku.shizuot@gmail.com)

..... <Aグループ> .....

- ① 「右被殻出血により高次脳機能障害を呈した症例の復職支援」  
○井原 啓介 氏 (NTT 東日本伊豆病院) SV: 清水 良治 氏
- ② 「訓練への意欲が低い重度失語症患者が自発的に自主トレーニングを行うまで  
(本人にとって重要な作業が行動変容に繋がった)」  
○内藤 絵梨佳 氏 (浜松市リハビリテーション病院) SV: 刑部 恵 氏
- ③ 「鈎状突起骨折を伴う、肘関節脱臼骨折により肘関節伸展制限を呈した症例」  
○保谷海斗マフラ 氏 (順天堂大学医学部附属静岡病院) SV: 鈴木 建宏 氏
- ④ 「両側麻痺がありながら食事動作を再獲得した事例」  
○松永 晃奈 氏 (順天堂大学医学部附属静岡病院) SV: 鈴木 建宏 氏
- ⑤ 「コミュニケーション手段として ICT 支援機器が実用化に至った一例  
- 対象者や家族との目標と現状の共有を通して -」  
○市川 野々美 氏 (小羊学園つばさ静岡) SV: 星川 望 氏
- ⑥ 「在宅復帰がかなわないことでリハビリに対する意欲が低下している症例の目標共有の  
重要性についての考察」  
○楠 侑也 氏 (北斗わかば病院) SV: 吉田 純平 氏

..... <Bグループ> .....

- ① 「重度片麻痺から一部補助手としての役割を獲得した事例  
- mci 療法にて生活上で汎化を図った一例 -」  
○村上 大祐 氏 (静岡リハビリテーション病院) SV: 大石 裕也 氏
- ② 「保続によって ADL に支障をきたした一例 - 視線計測と注意選択課題を用いた評価・介入 -」  
○福地 美奈 氏 (静岡リハビリテーション病院) SV: 大石 裕也 氏
- ③ 「自宅退院に向けて自助具を使用して食事動作の再獲得を目指した事例」  
○井口 巧己 氏 (すずかけヘルスケアホスピタル) SV: 佐野哲也 氏 西郷諒人 氏
- ④ 「右重度片麻痺を呈し、福祉用具を導入した事で自宅退院が可能となった症例  
- 更衣、トイレ動作の自立に焦点を当てて -」  
○権田 侑梨 氏 (すずかけヘルスケアホスピタル) SV: 佐野 哲也 氏
- ⑤ 「失語・失行を呈した片麻痺患者に対する ADL 訓練について  
- 誤りなし学習を実践して -」  
○丸山 祐吏香 氏 (静岡リハビリテーション病院) SV: 串田雄一郎 氏、井上洋輔 氏
- ⑥ 「PSB を使用した介入を通し食事動作に改善が見られた脳卒中片麻痺の症例」  
○橋詰 旋 氏 (静岡リハビリテーション病院) SV: 原田 健太郎 氏、串田 雄一郎 氏